

平成28年度 指定管理者評価表

【別紙5】

施設名：市民公益活動支援センター

指定管理者名：NPO法人はぴえる

1. 個別評価

評価項目	評価の視点	自己評価	市評価
サービスの提供	施設の設置目的に沿って平等利用が確保されたか。	A	A
	施設の設置目的に沿ってサービスを提供しているか。	A	A
	利用時間、利用日、利用期間は遵守されているか。	A	A
	利用者に対する情報提供、情報発信は適切か。	A	A
	利用の承認、案内等は適切かつ迅速か、また接遇は適切か。	A	A
	利用者のニーズを把握し、改善、工夫を行っているか。	A	A
	施設の利用率は適正な水準にあるか。	A	A
	苦情等の対応は迅速かつ適切か、また市に迅速に報告しているか。	A	A
	指定管理者が行った自主事業は、市民サービスの向上に役立ったか。	A	A
施設等の維持管理	不具合が生じた場合の市への報告は適切か。	A	A
	建物躯体及び設備機器の点検・保守、安全確認等は適切か。	A	A
	修繕は適切か。	A	A
	備品の管理は適切か。	A	A
	清掃、警備、衛生管理は適切か。	A	A
労務状況	サービス提供及び施設の維持管理のため、計画どおり適正な人員が配置されているか。	A	A
	勤務体制が、勤務者の休暇、休憩等の取得が適正か。	A	A
	必要な専門的資格、技術を有する人材を確保しているか。	A	A
	従業員に対して、計画的、効果的な人材育成を行っているか。	A	A
危機管理	緊急時に備えた、体制、対応マニュアル、研修・訓練等は適切か、また、防火、防犯体制の整備、研修、訓練等は適切に行われているか。	A	A
	災害、事故、盗難等の発生時に迅速な対応ができる組織体制と連絡体制になっているか。	A	A
	利用者の安全は確保されているか。	A	A
個人情報	個人情報保護のための体制、書類等の整備・保管、問い合わせ等への対応、研修は適切か。	A	A
	個人情報保護及び情報公開に関する関係法令を理解しているか。	A	A
	万が一、個人情報が流出した場合の対応が検討されているか。	A	A
財務状況	管理に要する収支は適正に保たれているか。	A	A
	支払いの遅滞は生じていないか。	A	A
	使用料、利用料金収入は計画どおりか。収入の増加が図られているか。	A	A
	現金は適正に取扱われているか。	A	A
	経費は縮減されているか、または、縮減に向けての努力がされているか。	A	A
	業務を外部委託している場合、その業務は施設管理の主要な部分以外であるか、過度に外部委託にシフトしていないか。	A	A
その他	省エネルギー、省資源、環境配慮物品等の購入など環境への配慮はなされているか。	A	A
	良好な関係を保つべき関係団体や地域との連絡調整は適切か。	S	A
	管理に要する法令は適正に遵守されているか。	A	A
	市との定例の連絡調整の機会が確保されているか。	B	B
	事業計画書（申請時）および年間事業計画書どおりに管理がなされているか。	A	A

評価欄の説明

- S：協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
- A：協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
- B：協定等を遵守し、概ね仕様書に沿った管理が行われたが、一部に課題がある。
- C：一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。

2. 収支報告

単位:円

		事業計画A	事業実績B	A-B	前年度実績	備考
収入	利用料金収入	500,000	509,710	(9,710)	520,080	
	ソフト事業収入			0		
	物品販売収入			0		
	手数料収入			0		
	指定管理料	11,529,480	11,529,480	0	11,554,000	
	その他収入			0		
	収入総額	12,029,480	12,039,190	(9,710)	12,074,080	
支出	人件費	7,450,000	7,244,584	205,416	7,001,214	
	事務費	999,000	899,776	99,224	1,150,768	
	管理費	482,000	346,248	135,752	331,017	
	ソフト事業経費	1,170,000	1,057,384	112,616	1,077,595	
	光熱水費	750,000	636,846	113,154	628,370	
	リース料	1,055,000	439,735	615,265	961,912	
	その他	123,480	587,444	(463,964)	681,493	
	支出総額	12,029,480	11,212,017	817,463	11,832,369	0
収支差額	0	827,173	(827,173)	241,711	0	

3. 総合評価

自己評価

本年度、①イベント情報紙は紙面を改善し、タイムリーな発行し、ホームページを改良するなど宣伝活動の効率化を図った。
 ②従来のボランティアに留まらず、企業の社会貢献やコミュニティビジネス・ソーシャルビジネスの啓発を実施した。
 ③キックス(河内長野市文化振興財団)や河内長野市社会福祉協議会など諸団体との協働事業をより進めることができた。

市評価

今年度は新しい取り組みとして、企業のボランティアを促進するための講座を実施し、商工会や河内長野ロータリークラブに参加を呼び掛けるなど、積極的な姿勢が見受けられた。
 ボランティア・市民活動フェスティバルでは、市内の高等学校や短期大学、また市役所各課に対し参加の呼びかけを行い、学校や行政関係の活動紹介コーナーを設けるなどの工夫が見られた。
 昨年に引き続き、生涯学習推進機関(くろまる塾)や社会福祉協議会と連携・調整を密に行い、ボランティア活動入門講座においては、講習会のみならず、体験参加型相談会を協働で実施するなど、新しい取り組みについて評価する。
 今後、市と市民公益活動支援センターとの調整会議の回数を増やすなど、更なる連携強化を図り、施設の適正な管理と効果的な運営に努めるとともに、指定管理者の更なる発展と活動の充実に期待する。